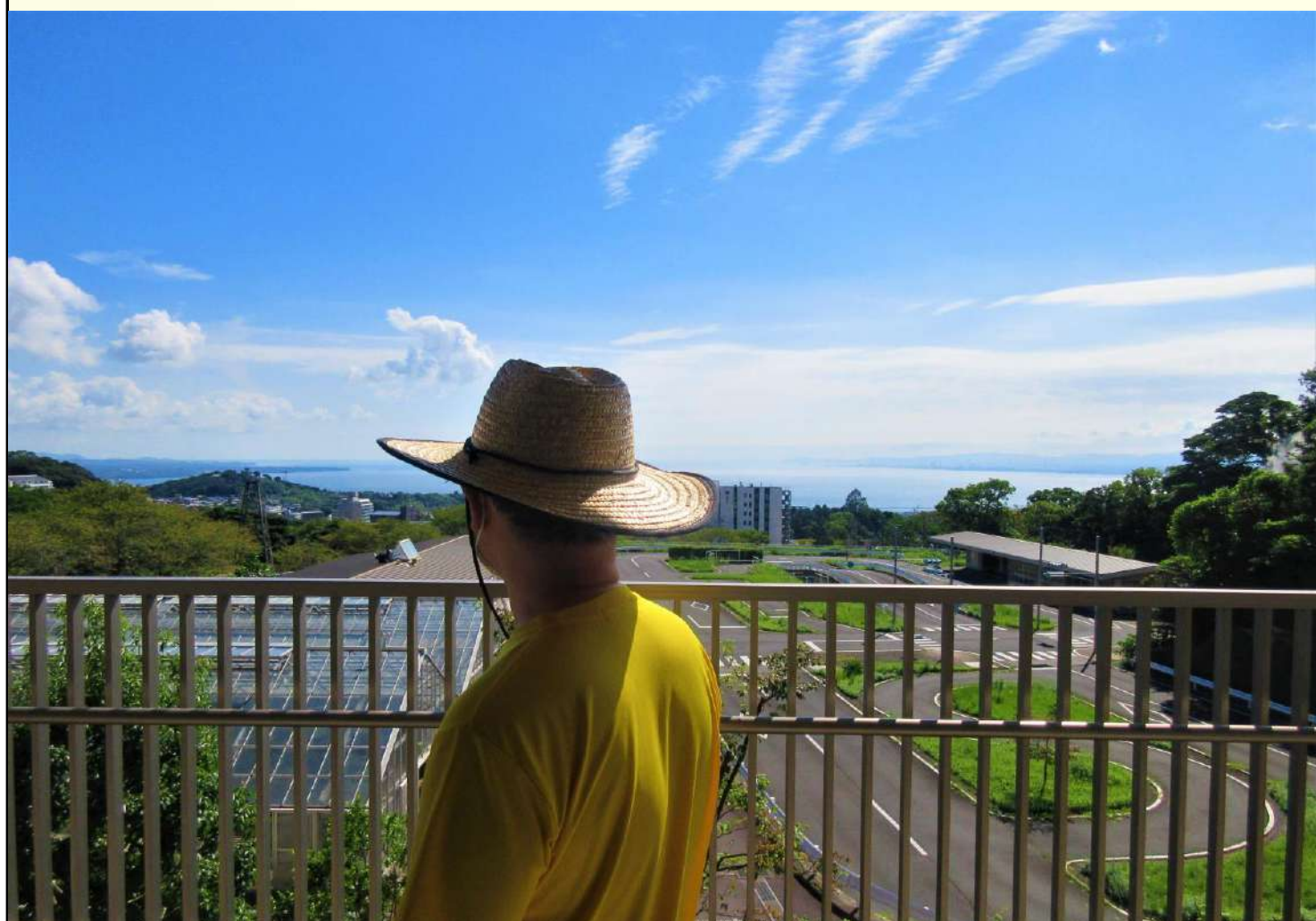


にじだより

NIJIDAYORI



<にじ>2階より 別府湾、自動車訓練場を望む

- ▶ 利用者的一天～自立訓練～
- ▶ 退所後訪問 ▶ アール・ブリュットの芽生え展に参加
- ▶ 就労定着支援センターからの報告 ～車の改造支援～

利用者のある一日をご紹介します

自立した生活と就職を目指し訓練に取り組まれる
女性利用者の一日をご紹介します。

朝の準備	7:00	起床				
	8:00	朝食				
	8:40	ラジオ体操 朝礼				
			<p>毎朝8:00の朝食に合わせて起き 身支度をする事で生活リズムが整いました！</p>			
自立訓練	9:00 ～ 11:50	訓練 (午前中)				
	12:00	昼食	スタッフが優しくアドバイス	自分のペースで体づくり	就職に向けパソコンを学んでいます	
	13:00 ～ 15:50	訓練 (午後)			オリジナルの革作品が作れます♪	ゲームになると違う一面が見られます
訓練後の過ごし方	16:00	自由時間				
	18:00	夕食	資格取得の勉強や自主トレーニングに取り組んでいます	シーツ交換や掃除で部屋の環境を整えます		
	18:30	自由時間				
	20:00	入浴				
	22:00	就寝	他の利用者と談笑しながら栄養バランスの整った食事で明日も頑張ろうと思えます	手すりなどが整っており使いやすいです。練習して一人でも毎日お風呂に入れるようになりました！		

～退所後の自宅を訪問しました～

今年の2月〈にじ〉を退所されご自宅に戻られたAさん。その3週間後には職場復帰を果たされました。今回、Aさんが生活やお仕事に困りごとがないか確認するためにご自宅に訪問しました。入所中より住宅改修を進められ、現在はご家族と共にご自宅で生活されています。ご自宅内は特に問題はなく、「満足している」という言葉が聞かれました。お仕事はパソコン業務が主で、順調に勤務が出来ており非常に充実した毎日を過ごせているようでした。現在はご家族の送迎での通勤ですが、本人用の改造車が納車できたらご自身で運転し通勤する予定です。一方で筋力・歩行能力は入所中よりも低下が見られており、運動機会が減ってきているようですが、こちら車もきたら近所のジムに通う予定です。



居室内に本人専用トイレを増設

玄関にスロープ・手すりの設置



筋力・歩行測定の様子



体成分分析装置（In Body）による測定
（今回初めて施設外に持ち出しました！）



浴室に手すり設置

最後にあらためて〈にじ〉での生活を振り返っていただきました。「身体機能の向上が図れた。また同じような障害の方と沢山話せて、気持ちを共有できたことが大きかった。〈にじ〉で過ごした時間は現在の生活に直結している」と話してくださいました。家族と過ごす時間や仕事ができる喜びを通して、Aさんの表情が充実感に満ちていて私たちスタッフもすごく嬉しく思いました。これからも〈にじ〉では利用者の方とお悩みを共有しながら、目標達成に向け一緒に考え取り組んでまいります。

アール・ブリュットの芽生え展へ出展しました！

別府市役所で開催されていた「アール・ブリュットの芽生え展」へ〈にじ〉の利用者の方々も出展しました。アール・ブリュットとは「伝統や流行、教育に左右されず、自身の内側から湧き上がる衝動のまま表現する芸術」の事です。（別府市HPより）個性豊かな作品たちが出展されており、〈にじ〉利用者も自身の作品を感慨深げに見つめられていたり印象に残る展覧会になったようでした。



就労定着支援センターからの報告 ～車の改造支援～

にじ就労移行支援での訓練を終え、令和元年9月より復職されたBさん。けがをする前に購入されていた自動車では、車いすの積み込みが難しく、通勤はご家族の送迎でされていました。

今後のことを考え、通勤をご自身で行わなければいけない！ということで、相談を受け、就労定着支援センターで、支援させていただくこととなりました。

車いすの変更か、改造車にするのか、一緒に考えていきました。福祉車両のカスタマイズなどを行う株式会社Loopさんに相談に行き、車いすはそのままで、車にリフトをつけることで積み込みが可能になるとご返答いただき、改造車を購入することになりました。

Bさんは、両手機能と両下肢に障害があるため、ドアの開閉、リフトの操作、車の乗りこみなど、多くの工夫が必要でした。Loopさんには、「一人で運転して移動ができるように、自分たちができることは何でもします！」との力強いお言葉とともに、たくさんの改造と工夫をしていただき、完成です。

5年ぶりの運転で不安があるので、別府リハビリセンターの自動車教習場で久しぶりの運転です！

車いすの積み込みもスムーズに行えるようになりました。

雨の日の車椅子の積み込みをどうしようかな・・・そんな不安もまだありますが、職場の駐車場については上司の方に相談をして、通勤ができる日はまもなくです。

障害を持ちながら働き続けることは、時にはその障害のために課題に直面し、立ち止まってしまうことがあります。その課題を乗り越え、前に進めるように、これからも一緒に考えていきたいと思っています。

ドアが開かないので一工夫



車いすこの辺りかな

リフトで吊り上げます



5年ぶりの運転席です！



【ご相談の対象者】

- 18～65歳くらいまでの方
- おおむねトイレが自立されている方
- 常時医療行為が必要のない方
- 集団生活が出来る方
- 障害者手帳をお持ちの方、または申請予定の方
(手帳をお持ちでない方もお気軽にお問合せください)

ご相談・ご質問
お待ちしております！
担当 小野



編集後記

感染症の流行により、なかなか外出が難しい今日この頃ですが、利用者の皆さんは<にじ>から見える景色(表紙)を楽しんだり、革工芸の作品を作ったりとそれぞれの「おうち時間」を過ごされています。

実は、革でできています！→



社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

障害者支援施設 にじ (機能訓練・生活訓練・就労移行支援・施設入所支援)

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10 TEL: 0977-67-1716 ホームページ: <https://brc.or.jp/>

